

A 基礎 童と小鳥

練習 全8問 目安15分

動作が続く所と、人物が替わる所を見分けます。

字数指定のない答えは、必要な内容を簡潔に書きましょう。選択問題は指定された記号を○で囲みます。

本文 教材用作例 童と小鳥

- ① ある日、童、川のほとりに遊びけり。小さき鳥を見つけて、家に連れ帰りぬ。
- ② 母、「この鳥は、いづこにありつるぞ」と問ふ。童、「川のほとりに侍りつ」と答ふ。母、鳥を籠に入れ、水を与へけり。
- ③ 夕暮れに、童、籠を開けて、「山へ帰れ」と言ひければ、鳥、空高く飛び去りぬ。童、その後を見送りて、家に入りけり。

注 童（わらわ）＝子ども。ほとり＝そば。籠（かご）。

注 いづこ＝どこ。ありつる＝あった。侍りつ＝ありました。

注 連れ帰りぬ・飛び去りぬの「ぬ」は、動作が完了したことを表す。

原文は歴史的仮名遣いを基本に示しています。

問1 ①の「遊びけり」の主語はだれですか。

問2 ①の「見つけて」「連れ帰りぬ」の主語の組合せを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 見つけたのは鳥、連れ帰ったのは童
ウ 見つけたのは童、連れ帰ったのは母

イ 見つけたのも連れ帰ったのも童
エ 見つけたのも連れ帰ったのも母

問3 ②の「問ふ」の主語はだれですか。

問4 ②の「この鳥は、いづこにありつるぞ」という母の問いを聞いて、答えた人物を書きなさい。

A 基礎 童と小鳥 続き

練習 全8問 目安15分 本文・注：問題1ページから

問5 ②の「水を与へけり」の主語を一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 童
- イ 鳥
- ウ 母
- エ 籠

問6 ③の「山へ帰れ」について、話している人物と、帰るように言われているものをそれぞれ書きなさい。

問7 ③の「飛び去りぬ」の主語を、本文から一字で抜き出しなさい。

1

問8 ③の最後の「家に入りけり」の主語は母だ、という読みは正しいですか。正しい主語と、直前のどの動作から続いているかを書きなさい。

B 標準 子に名前を付ける

練習 全8問 目安20分

見る人と見られる人、頼む人と名付ける人を分けます。

本文 竹取物語 かぐや姫の成長と命名

① 翁心地あしく苦しき時も、この子を見れば苦しき事も止みぬ。腹だたしきことも慰みけり。

② 翁竹をとること久しくなりぬ。勢猛の者になりけり。

③ この子いと大になりぬれば、名をば三室戸斎部秋田を呼びてつけさす。秋田なよ竹のかぐや姫とつけつ。

注 この場面より前に、竹取の翁は竹の中で見つけた子を家に連れ帰り、妻と育てている。

注 翁（おきな）＝年をとった男。心地あし＝気分や体調が悪い。慰む＝心が和らぐ。

注 勢猛（いきほひまう）の者＝勢力の盛んな者。読みは歴史的仮名遣い。三室戸斎部秋田（みむろどいんべのあきた）＝人名。

注 つけさす＝付けさせる。「さす」は、ほかの人にその動作をさせる意味を表す。

注 原文の漢字・仮名・句読点は、教科書によって異なる場合があります。

注 大（おほき）に＝大きく。括弧内は歴史的仮名遣い。現代の読みは「おおき」。

原文は歴史的仮名遣いを基本に示しています。

問1 ①で「心地あしく苦しき」状態にあるのはだれですか。

問2 ①の「この子を見れば」について、「見る人」と「見られる人」をそれぞれ書きなさい。

問3 ①の「止みぬ」の主語に当たるものを、本文から四字で抜き出さない。

--	--	--	--

4

B 標準 子に名前を付ける 続き

練習 全8問 目安20分 本文・注：問題3ページから

問4 ②の「勢猛の者になりなけり」の主語を書きなさい。

問5 ③の「大になりぬれば」と「秋田を呼びて」の主語を、それぞれ書きなさい。

問6 ③の「つけさす」は「名前をつけさせる」という意味です。つけさせる人と、実際につける人をそれぞれ書きなさい。

問7 「秋田を呼びて」の主語を秋田とする読みが適切でない理由を、「を」という語と、その後の行動に触れて説明しなさい。

問8 ③の「名をば三室戸齋部秋田を呼びてつけさす」を、だれが、だれの名を、だれに付けさせたか分かる現代語にしなさい。

C 応用 仁和寺にある法師

練習 全8問 目安25分

会話中の主語の切替えと、語り手の立場を確かめます。

本文 徒然草 仁和寺にある法師

- ① 仁和寺にある法師、年よるまで石清水ををがまざりければ、心うくおぼえて、ある時思ひたちて、ただ一人かちよりまうでけり。極楽寺高良などを拝みて、かばかりと心得てかへりにけり。
- ② さて傍の人に逢ひて、「年ごろ思ひつる事はたし侍りぬ。聞きしにもすぎてたふとくこそおはしけれ。そも参りたる人ごとに山へのぼりしは、何事かありけむ、ゆかしかりしかど、神へまゐるこそほいなれと思ひて、山までは見ず」とぞいひける。
- ③ すこしの事にも、先達はあらまほしきことなり。

注 仁和寺（にんなじ）＝京都の寺。法師（ほうし）＝僧。石清水（いはしみづ／現代の読み：いわしみず）＝石清水八幡宮。

注 極楽寺・高良（こうら）＝山のふもとにあった寺と神社。石清水八幡宮の本社は山上にある。

注 心うし＝残念だ。かちより＝歩いて。かばかり＝これだけ。心得る＝ここでは思い込む。

注 傍（かたへ）の人＝近くの人。年ごろ＝長年。はたし侍りぬ＝果たしました。たふとし＝尊い。

注 ゆかし＝知りたい。ほい＝本来の目的。先達（せんだつ）＝案内・指導をする経験者。あらまほし＝あってほしい。

注 原文の漢字・仮名・句読点は、教科書によって異なる場合があります。

原文は歴史的仮名遣いを基本に示しています。

問1 ①の「思ひたちて」「まうでけり」の主語を答えなさい。

問2 ①の「極楽寺高良などを拝みて」の主語を一つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|----------|----------|
| ア 近くの人 | イ 山に登る人々 |
| ウ 仁和寺の法師 | エ 筆者 |

問3 ①の「かばかりと心得て」で、これだけだと思い込んだ人物と、その人物が帰る前にしたことを書きなさい。

C 応用 仁和寺にある法師 続き

練習 全8問 目安25分 本文・注：問題5ページから

問4 ②の「年ごろ思ひつる事はたし侍りぬ」は、だれがだれに言った言葉ですか。

問5 ②の「山へのぼりし」の主語は法師ですか。本文を根拠に、正しい主語を答えなさい。

問6 ②の「ゆかしかりしかど」の主語を答え、何を知りたかったのか説明しなさい。

問7 ②の「神へまゐるこそほいなれと思ひて、山までは見ず」を、思った人と見なかった人が分かるように説明しなさい。

問8 ③の「先達はあらまほしきことなり」は、だれの考えですか。②の会話との区切りにも触れて答えなさい。

D 確認テスト 高名の木登り

確認テスト 全8問 目安30分 100点

指図・動作・問答の主語を自分で補い、100点で確認する。

本文 徒然草 高名の木登り

- ① 高名の木のぼりといひし男、人をおきてて高き木にのぼせて、梢をきらせしに、いとあやふく見えしほどはいふこともなくて、おる時に軒だけばかりになりて、「あやまちすな。心しておりよ」とことばをかけ侍りしを、
- ② 「かばかりになりては、飛びおるるともおりなむ、いかにかくいふぞ」と申し侍りしかば、「その事に候ふ。目くるめき、枝あやふきほどは、おのれがおそれ侍れば申さず。あやまちはやすき所になりて、必仕ることに候ふ」といふ。
- ③ あやしき下臈なれども、聖人のいましめにかなへり。

注 高名（こうみょう）の木のぼり＝名高い木登りの名人。おきつ＝指図する。梢（こずゑ／現代の読み：こずえ）＝枝先。

注 あやふし＝危ない。軒だけ＝軒の高さ。あやまちす＝けがや失敗をする。心して＝気を付けて。

注 かばかり＝これくらい。おりなむ＝きっと降りられるだろう。目くるめく＝目がくらむ。おのれ＝本人。

注 やすし＝安全だ。仕る（つかまつる）＝する。あやしき下臈（げろう）＝身分の低い者。聖人＝学問・徳の優れた人。

注 本文の後に続く、蹴鞠を例にした筆者の説明は省略した。

注 原文の漢字・仮名・句読点は、教科書によって異なる場合があります。

原文は歴史的仮名遣いを基本に示しています。

問1〔10点〕①の「人をおきてて高き木にのぼせて」について、指図する人と実際に登る人を答えなさい。

D 確認テスト 高名の木登り 続き

確認テスト 全8問 目安30分 100点 本文・注：問題7ページから

問2〔10点〕①の「梢をきらせし」で、実際に枝先を切るのはだれですか。

問3〔10点〕①の「いふこともなくて」と「おるる時」の主語の組合せを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言わないのも降りるのも名人

イ 言わないのは名人、降りるのは指図された人

ウ 言わないのは筆者、降りるのは名人

エ 言わないのも降りるのも筆者

問4〔10点〕①の「心しておりよ」について、話し手と、気を付けて降りるよう求められた人を答えなさい。

問5〔15点〕②の「いかにかくいふぞ」と尋ねた人と、「その事に候ふ」と答えた人をそれぞれ答えなさい。

問6〔15点〕②の「おのれがおそれ侍れば申さず」で、怖がる人と、注意を言わない人を分けて説明しなさい。

D 確認テスト 高名の木登り 続き

確認テスト 全8問 目安30分 100点 本文・注：問題7ページから

問7〔15点〕②の「あやまちはやすき所になりて、必仕ることに候ふ」は「名人は安全な所で必ずけがをする」と訳せますか。だれの行動を一般化した説明かを明らかにして、正しく説明しなさい。

問8〔15点〕③の「あやしき下臈なれども、聖人のいましめにかなへり」について、だれが、だれのどんな言葉を評価していますか。

得点 /100点 解き直した日 月 日